

さあ、**快楽の時間だ!**

エロ
宇宙快楽

制作:ふいうちペンギン

加藤茉莉香

一介の女子校生ながら
宇宙海賊船・弁天丸の
船長をつとめる少女

大昔に当局が海賊行為を公認した
私掠船免状を受け継いだ関係から
多くの勢力に身柄を狙われている

だが、彼女を手に入れたのは
組織ではなく一人の男、
しかも求めたものは
キャプテン茉莉香の立場ではなく
彼女の身体そのものだった……



学校の勉強にアルバイト、
ヨット部の活動に海賊仕事まで
もー毎日が大忙し

好きでやってることだけど、どうしたって
ストレス溜まる時があるんだよねー

そのせいで変な癖がついちやった…
部のみんないない放課後、
シミュレーターに潜り込んでオナニー

んっ♡

んっ♡

くちゅっ

くちゅっ



狭い密室のなか
いやらしいリズムで乱れる
自分の息が響く

こんなにエッチな音を立てて
乳首やオマ●コを
イジリ慣れてる
私のことを誰も知らないんだ

そう思うと
たまらなく興奮して
指はますます激しく動いた

bean flicking

ハアッ♡

ハアッ♡

びくっ!

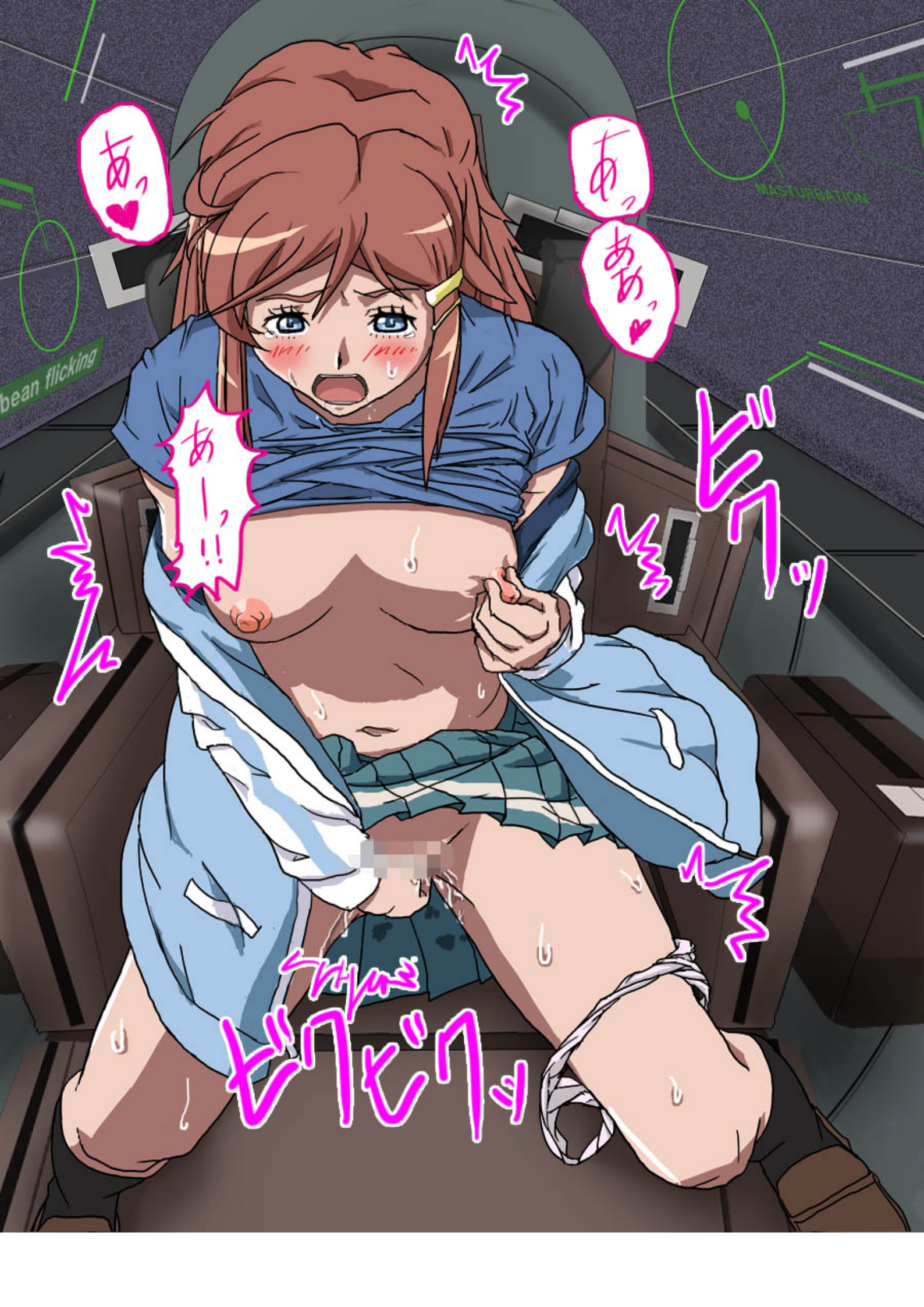
〜

くっ
くっ

びくんっ

くっ♡

しゅっ♡



MASTURBATION

bean flicking

あー♡

あー♡

あー♡♡

あー!!

ズンズンズン

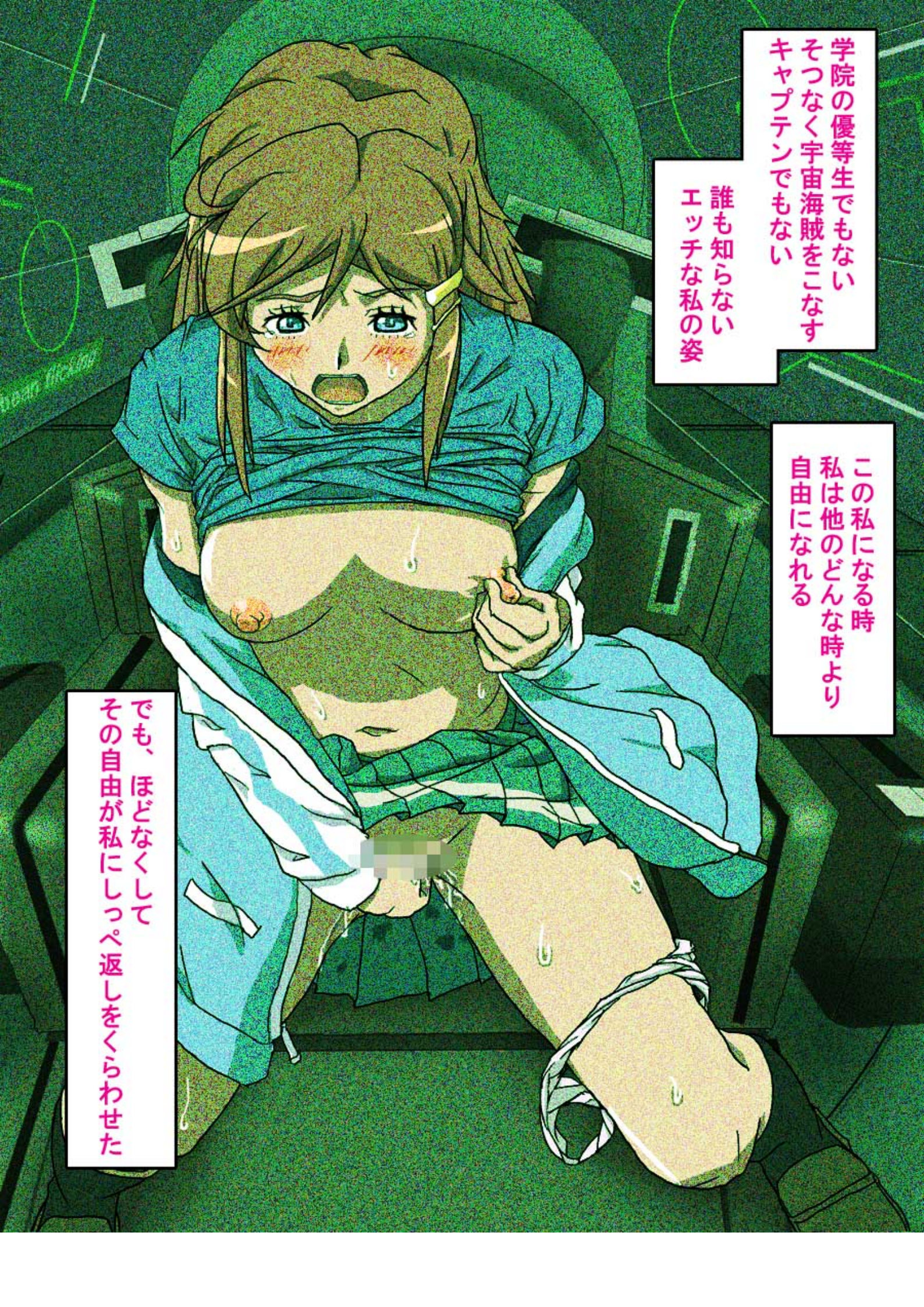
ズンズンズンズン

学院の優等生でもない
そつなく宇宙海賊をこなす
キャプテンでもない

誰も知らない
エッチな私の姿

この私になる時
私は他のどんな時より
自由になれる

でも、ほどなくして
その自由が私にしつぺ返しをくらわせた



よく撮れてるだろ？

REC

お宝をいただく海賊さまが
お宝映像を提供しちゃ
世話ないな

FULL AUTO
REMOTE CONTROL

00:23:07

……っ！
白鳳女学院の
とある生徒が
胸と股間をこねまわし
絶頂するシーン

私を呼び出した男の人は
言いわけしようのない
映像を見せつけた

あっ♡

あん♡



何が目的なんですか？
もしかして
どこかの海賊の

キャプテン茉莉香、
俺はお前とセックスしたい
俺のチ●ポを
その一人遊びしか知らない
オマ●コにぶちこみたい
要求はそれだけだ

はあっ!?
ちよっ!いきなり
何言いだすの!?

イヤかね

あつたりまえでしょっ!



そうは言っても
お互いにもう
他の選択肢はないんだけどな

うわあっ！

ビクッ

いきなり身体を求められ
混乱した直後ふいうちで
目の前に突き出された
肉の棒：
グロテスクだけど一瞬で
目をひきつけられた

ゼンッ



さて、まずは口だな

当然の流れみたいない言ひ方に
ちよっと反抗心があおられた

…絶対にイヤだって
言ったらどうします？

それなら
ありがちな脅しを
する羽目になるな、
映像を公開するぞと

す、すれば
いいじゃない！

お前がかく恥じゃなくて
部活や船のお仲間にかかる実害を
想像してみるんだな

!

私の立場的に
痛いところを
突かれた

部の設備内であんなことしたのは
それなりのスキャンダルになる
最悪、うちのヨット部が大会出場禁止、
海賊仕事のほうも評判に関わりそうだ

んっやめっ……！
押しつけないでっ
こんな……むぐっ！

おち●ちんの頭が
私のほっぺたに
ぐりぐりと押し込まれ、
顔の形をゆがませるほど
くいこんできた

じかに触れた熱さと硬さが、
いま男の人からエッチな欲望を
ぶつけられているのだと
私に実感させた

ぐんぐん
ぐんぐん
りゅっ



よし
いい子だ
いつも爽やかな
言葉を吐いてる
その唇で
オスのチ●ポを
しっかり
受け止めるよ

「オス」

彼がそう形容した
理由が分かる……
口を侵略されながら
アタマではなく
感覚で納得してしまった

んんっ

んむっ

ふっ
んふっ

むちゅっ

ぐっ





すび!!

ん!!

フェラ……うん
これだと
イラマチオだっけ

んぶっ

ぐぽっ

ずぽっ

ズッズッ

ぐぽっ♡

んっ

んむっ

一人でする時に
想像したことはある
でも……それより
何倍も力強くて
圧倒的で……ッ！

そらっ
まずは喉マ●コ処女を
もらうぞっ
加藤茉莉香ッッ!

ぐいっ

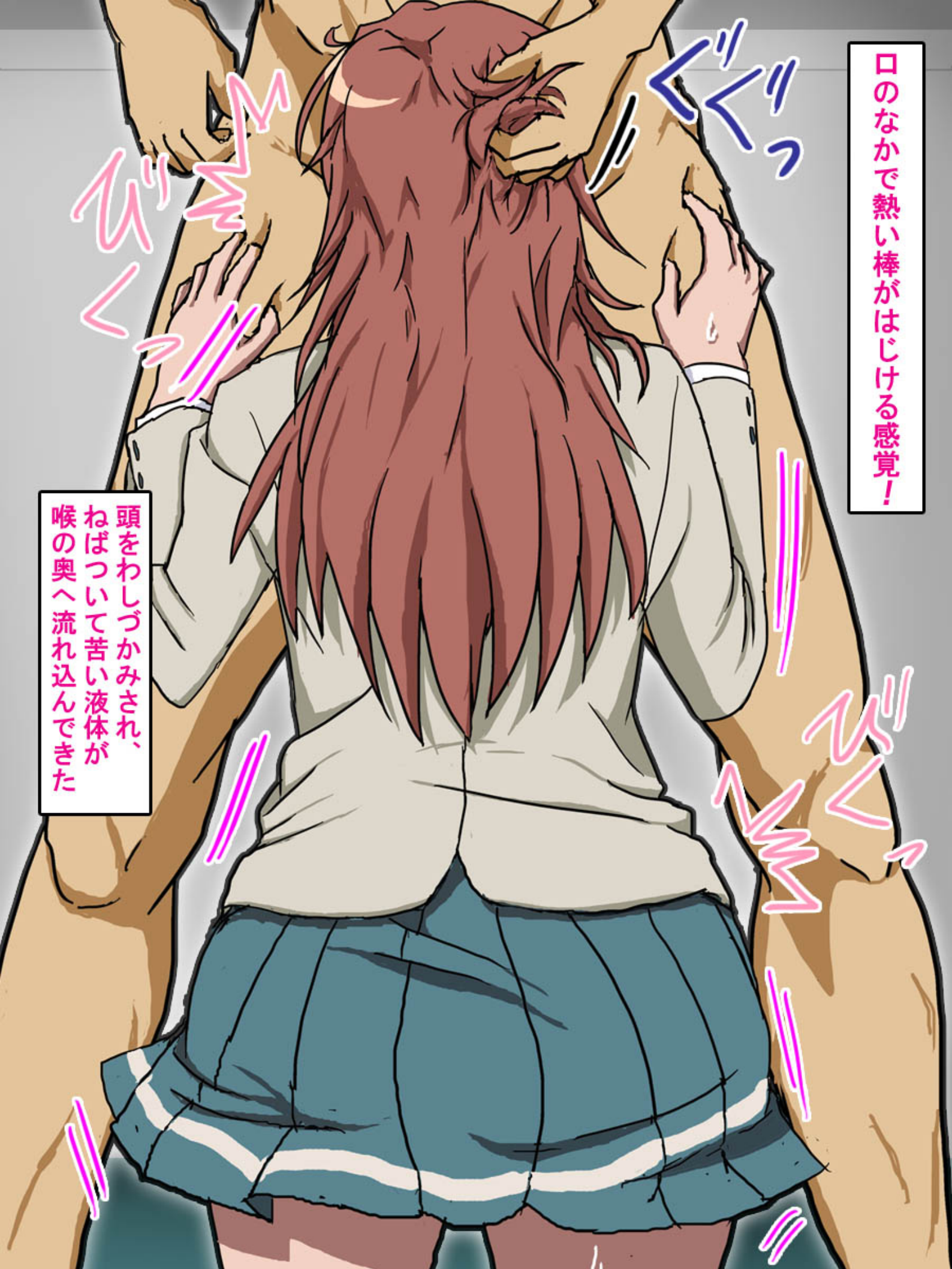
ガッ

ズズッ



口のなかで熱い棒がはじける感覚！

頭をわしづかみされ、
ねばついて苦い液体が
喉の奥へ流れ込んできた

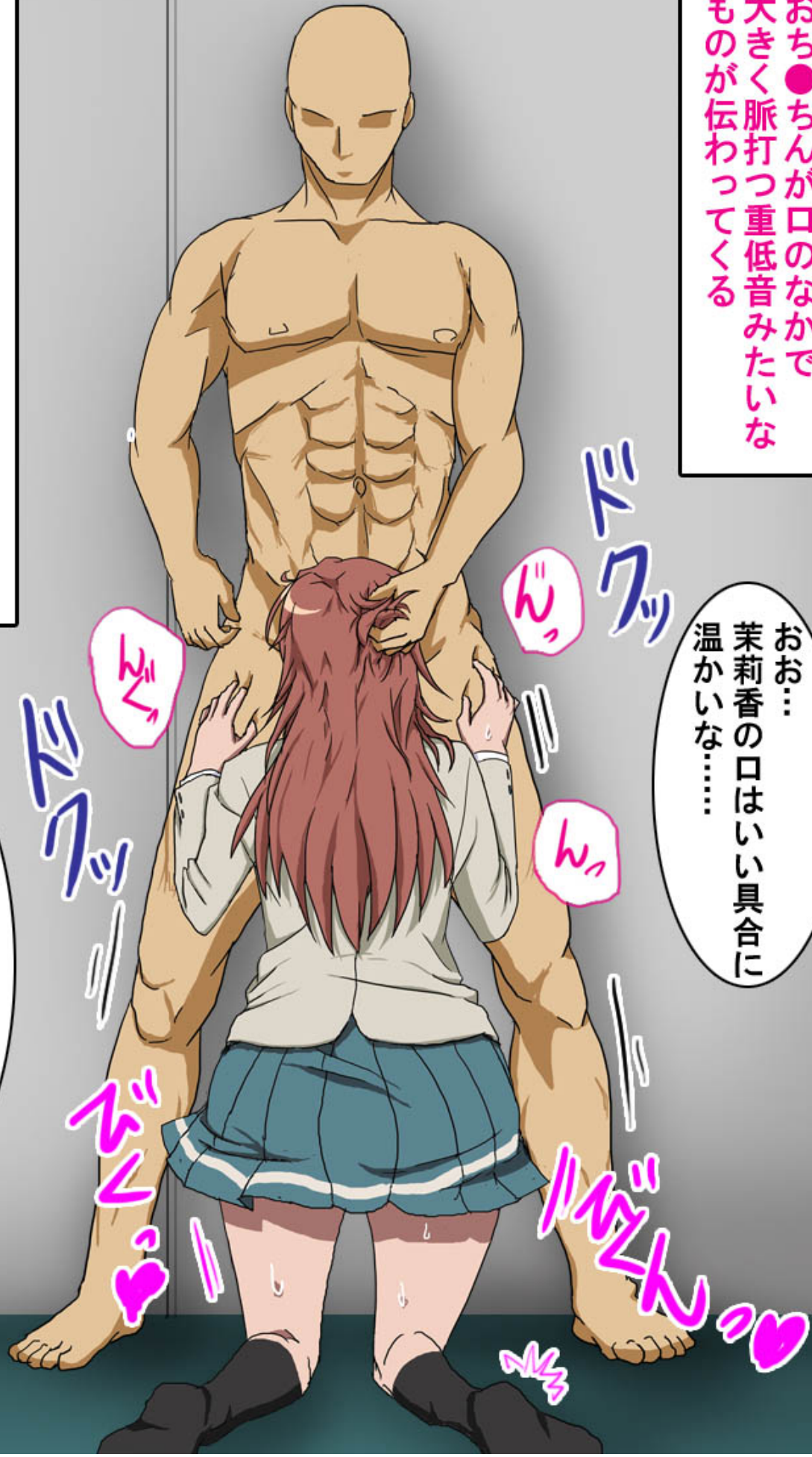


ドクツドクツと
おち●ちんが口のなかで
大きく脈打つ重低音みたいな
ものが伝わってくる

固定された頭を動かさない体勢のまま
私の腰と脚がびくん、びくんと
はねあがった

おお…
茉莉香の口はいい具合に
温かいな……

よし…っ
そのまましっかり
ザーメン味わえよ…っ



男の人の素肌の熱



おち●ちんの
形、舌ざわり、匂い



射精の瞬間の動き
そのあとの脈動

口から喉の奥まで
おち●ちんを
出し入れされる
息苦しき



精液の味、粘り



本物の男性器をくわえる
という、この経験

ド
ロ
オ
ッ
...

うん...

今までぼんやり知識だけで
イメージしていたものが
生々しい実感として
次から次へ襲ってきて
混乱し、アタマが
パンクしそうだった



口のなかをなぶられた後、私は大きなベッドが一つあるだけの狭い部屋に連れ込まれた

連れ込まれた、というシチュエーション自体がじわじわと私に確信を抱かせてしまう

しゅるっ

ああ、最初はスカートとワイシャツを

残して脱いでくれ

そのほうが興奮する

……っ

私、今からこの人とセックスするんだ……



しつこく胸をもまれ、
おっぱいの先を
乱暴に引っぱられる

あつ乳首ダメっ
あああんっ！

痛いことよりも、
痛みの奥に何か甘い、
しびれのようなものが
湧いてくることに
気づいて恐くなった

ムクムク♡

ムクムク♡

ムクムク♡

キュウキュウ♡

ムクムク♡

この敏感さ、
目ごろオナニーで
いじってたおかげだな

ハッ

ハッ

くっ…

ハッ

こりっ
こりっ

もみっ

私は何も言い返せなかった
半分は胸をもてあそばれ悶えていたから
もう半分は……凶星だったから





きゃあ

ゴロ〜

ガバッ

ベッドの上にひっくり返され
まる見えになった下着越しに
アソコを舐められた

あゝ

あゝ

あゝ

べ
ち
ゃ
ん

じ
ゅ
る

がっしり捕まって
動きは封じられている
湿った生温かい舌の感触が
股間に染みとおってくる

すっかりほぐれたな
濡れてんのは
俺の唾液だけじゃないよな

ハアッ

ハアッ

じゅわっ

トロキッ

もぞっ

そう……下着のシミの端から
はしたなく流れ出る液体は
私のアソコが漏らしたものだ

ああっ……あっ



下着を剥ぎ取られ、
私の下半身が
むきだしになる

あ……!

カッ
ッ

ぐ
い
っ

やだっ

くぽあ

肌が直接
つめたい空気に触れたのに
アソコの熱はじんじんと
高まったままだった

やめ……っ

ピクッ

ひっ…!!

お願いっ
ちよっと待っ…

「その時」が近づいてくる
男の股間に鋭い角度で張り出した
大きな肉の槍が
私にまっすぐ狙いをつけていた

ぬっ

そして……



あんっ

ギンツ

ギンツ

あっ

いいぞ茉莉香っ
よく締め付けてくるっ

ゼクン

だめっ
もっもっすっし
ゆっくりっああっ

グチ
ズ

ズ
チ
ユ
ツ

ズ
ズ
ツ

あっ

うおおっ茉莉香っ！
膣内に射精すぞっ
宇宙海賊キャプテンマ●コ
いたただきだっ！

んんん
んんん
んんん

に
に
に
に
に

ッ
ッ
ッ
ッ
ッ



この日この時
私は初めてセックスした

今まで、オナニーに耽りながら
本物のHはこんな感じだろうか
と想像していた時の
イメージはあまりに無邪気でおとなしいものだったと
思い知らされた

私を犯したこの男は
自分を「オス」だと言っていた
じゃあ、私は……
「メス」になったのかな



ズッ

休んでるヒマはないぞ！
せっかくだ、
お前にも気持ちよくなってもらおう
じゃないか！

えっ、あぁっ？
あっあぁんっ
あぁあぁっ！

彼はそう叫ぶと、
射精した後も私の膈内で
ガチガチに硬いおち●ちんを
ますます激しく突きこんできた

ズンッ
ズンッ
ズンッ

ズッ
ズキョッ



あっ♡

んくう♡

激しい腰の動きに
ベッドがきしむ音が
繰り返し響く
同じリズムで私もあえぐ

でもそれは
痛みには耐える声じゃない
ただ押し寄せる
強引な気持ちよさに
振り回される声で…

んうっ♡

あっ♡

ギィ
ギィ

ズツ
ズツ
ズツ

ぬいっ♡
ぬいっ♡

ぽちゅっ♡
ぽちゅっ♡



イけっ!

ビグッ
ズン

ああっやだっ!
ダメッああっ♡
イっちやうっダメッ
イクのやだっああっ
んっあああっ♡

オラッ!
とどめだっ!

きゃん♡
んん

ぶゅるる

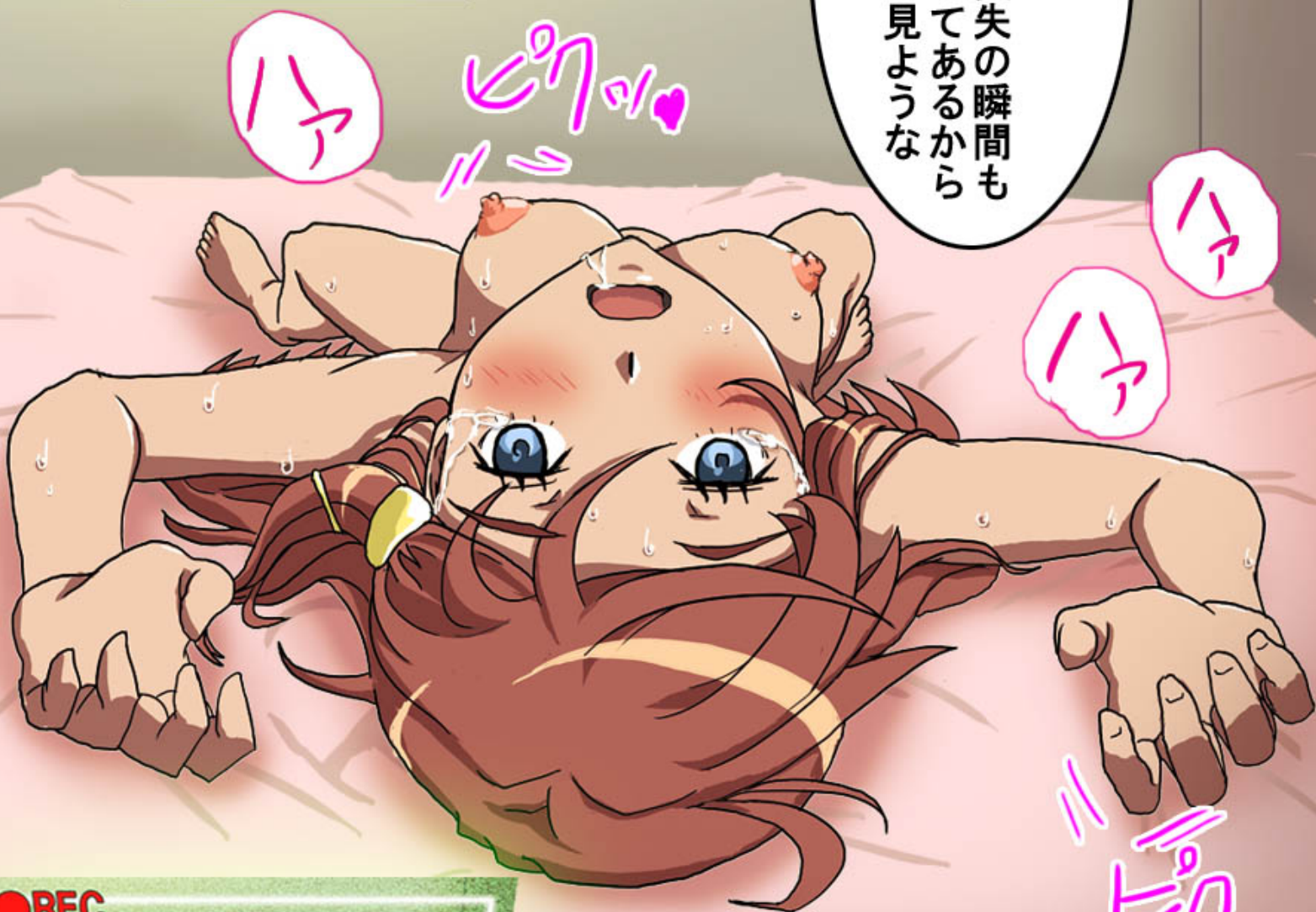
とび
ぴゃっ

お前の身体……
期待以上だったよ
キャプテン茉莉香

ああそうそう、
きょうの処女喪失の瞬間も
しっかり撮影してあるから
今度いっしょに見ような

あ……う……

無理やりに
注ぎ込まれた快感の
オーバーフローで
放心している私に
彼は「これからも
よろしく」と笑った

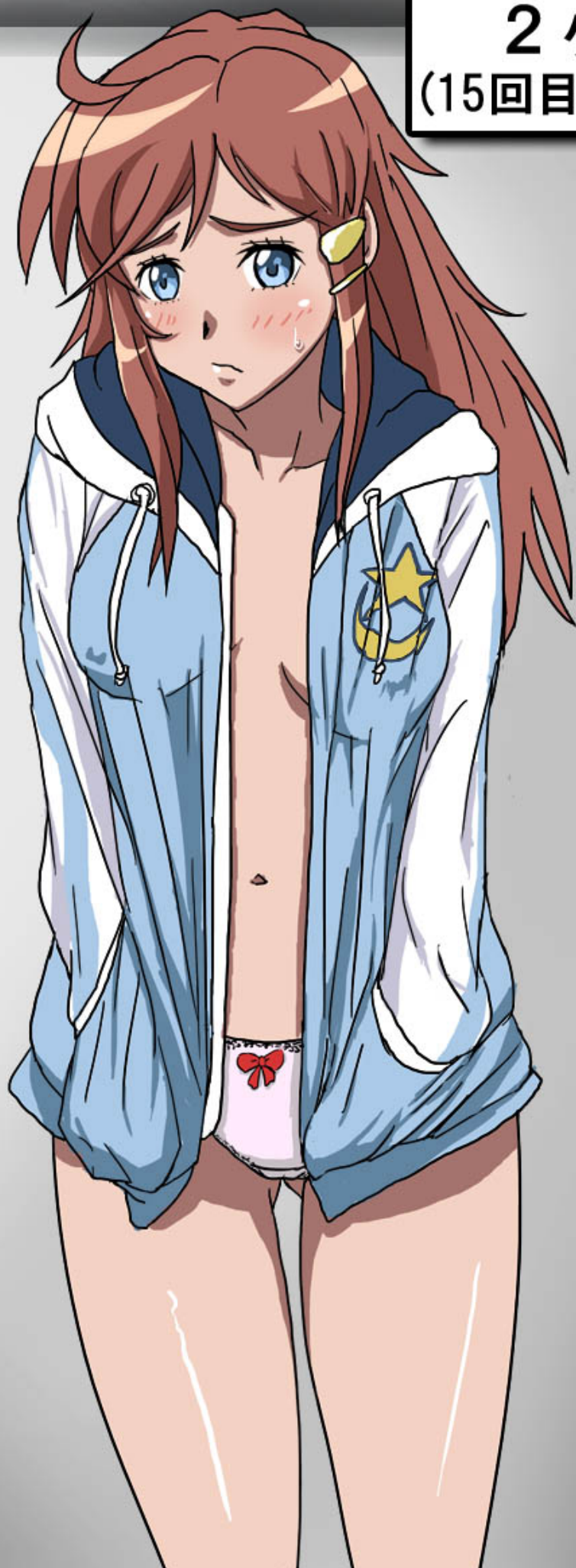


処女を奪われた
こと以上に、
最後は完全に
気持ちいいだけ
だったことが
シヨックだった

2ヶ月後
(15回目の呼び出し)

…あれから私は
週に1度か2度のペースで
彼に呼ばれてセックスしてる

学校や弁天丸のみんなからは
私に彼氏でもできて、ウブな付き合いを
してるようだと思われてるみたいだけど
……ほんとのこと知ったら
ひっくり返るだろうな



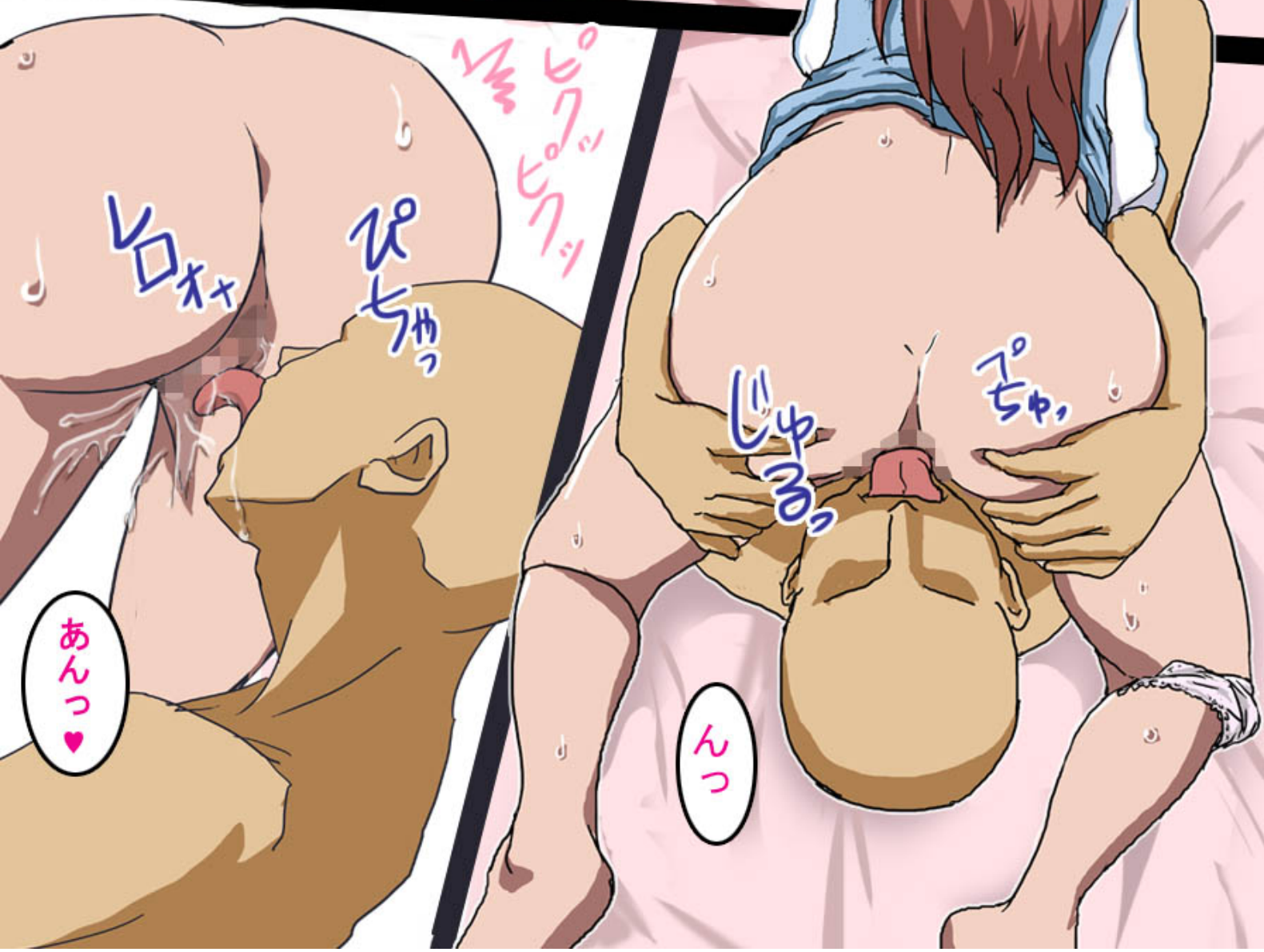
おおっ
こないだお願いした通りに
裸ジャージをしてくれたなあ
マリーはいい子だなあ

んも、
はしやがないですよ
……ヘンタイ

あとマリー言った

さすがにここまで
しよっちゆう会ってる
と軽口をたたく余裕も
出てきちゃったりして
……うーん

私が彼のチ●ポを舐めて
彼が私のオマ●コを舐める
こんな行為もおたがいの
呼吸をすぐに合わせて
気持ちよくなれる……
この2ヶ月で
いろいろ覚えてしまった

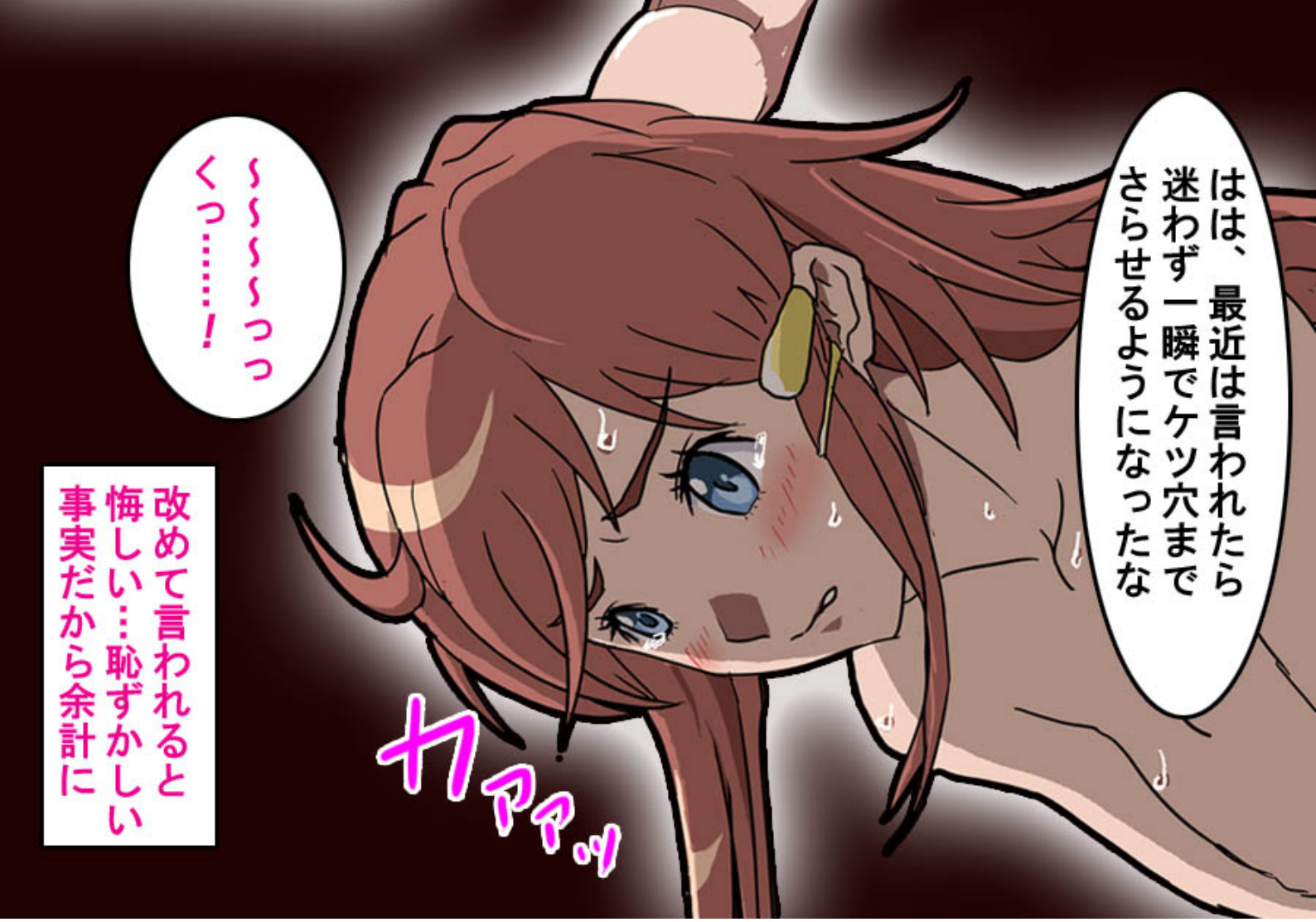




よし、じゃあ全部脱いでケツ上げろ

んっ……

♡
いっっ♡



はは、最近は言われたら迷わず一瞬でケツ穴までさらせるようになったな

くっ……!!

改めて言われると悔しい……恥ずかしい事実だから余計に

カアアッ

ほらほら
腰が下がったぞ
もっとしつかり
ケツ上げて！

んあっ♡

四つんばいになって
強く指示されると
なんだか、しつけを受けてる
ワンちゃんになった気分
(実際、この前このポーズで
ワンワンと犬の鳴きマネを
させられたりしたのよね…)



うんうん、きょうも
すべすべムチムチで
最高のケツ肉の感触だ
このまま一晩中
尻をなで続けるのも
アリだな

おむっっ♡
し

ぷりんっ♡

きやんっ♡
んっ…もう…っ
バ、バカなこと
言わないでっ

んっ♡

なで なで

あ♡



くすぐるように
ソフトなタッチで
アソコをなでる
彼の指先の動きは、
私の弱いところを
完全に理解していた



そしていきなり
指をつっこまれて
激しくかきまわされた
彼はいつも上手く緩急を
つけて攻めるものだから
エッチな行為を
どれだけ覚えても
私は翻弄されっぱなしだ

ビーン

ぐちゃっ
ぐちゃっ

じゅー
じゅー

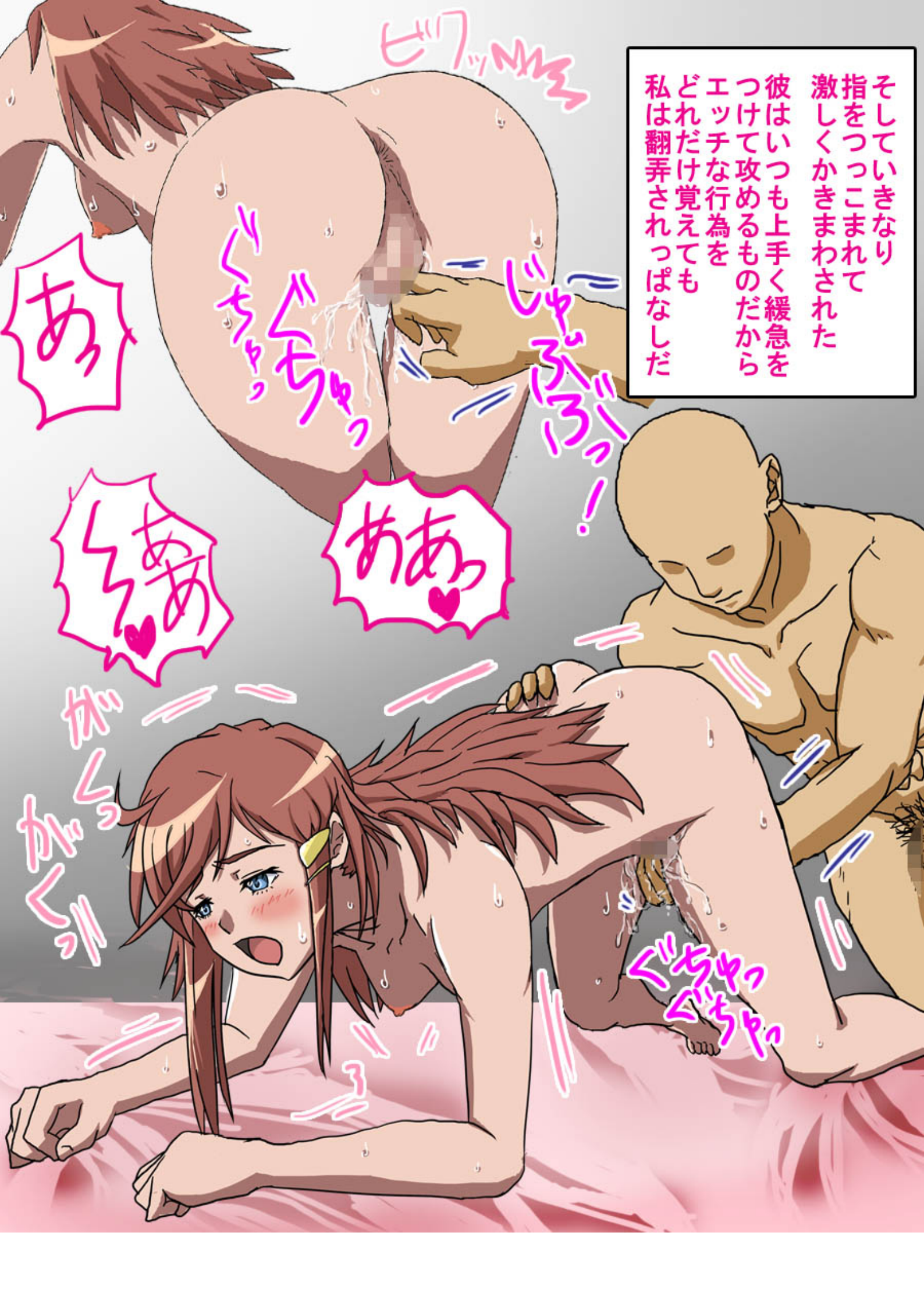
あ

あ
あ

あ
あ

か
か

ぐちゃっ
ぐちゃっ



さて……と
たまには茉莉香に
上になってもらうか

え？ ああ……
うん……

……ていうか私のこと
茉莉香って呼ぶのか
マリって呼ぶのか
統一してほしいんだけど

なんだ、愛称で
呼んでほしいのか

ちっ
違うわよ！

もぞもぞ

もぞ

ぎし

も



よし、おしやべりも
楽しいけど
そろそろ始めようか

っ！

そう言った彼と私の
腰が密着している部分から
おち●ちんの先が
ぬるりと顔を出した

ドキッ♡
ム

ぬっ

っ



10分後

その…
始めるんじや
ないの…？

ああ、だから
始めてるよ
…おあずけの
じらしプレイを

んん…
んん…

ね、ねえ…っ！

んん
何かな

っっ！さっきから
もったいぶって
おち●ちんで私のお腹を
こすりまわしてると
思ったら…！！

もい

やちゃ…

もい
もい

にゃるん

にゃるん



もう十数回も
彼に抱かれてきた
けれど……私から
ねだったことは
まだなかった

今までも
軽くじらされた時に
もっとしてほしいと
お願いしそうに
なったことがあった
でも本当に
引き返せない一線を
越える気がして……
何とか我慢してきた

彼はそれが
分かかって……
きよう本当に
私を墮とすつもり
なんだ
私を……完全に
手に入れたんだ



ク●トリスを
かすめるように
下腹部をこすられ続けて
私の身体に熱がこもる
だけど……
私の身体に覚えこまされた
あの爆発するような
快感の熱には
ぎりぎり届かない

二〇分……

三〇分……

私の身体の内側から
誘惑の音が聞こえる
そう、
このもどかしさから
解放される手段は
目の前にある
すぐそこに……!!

キャプテン茉莉香
：何を言えればいいか
分かるよな

……うん……

……おねがいつ!
おち●ちん挿れて!
ドロドロになつて
我慢できなくなつて
私のオマ●コの一番奥まで
ガチガチの太くて長い
チ●ポねじこんで!
たくさん突いて!
中で射精してほしいからっ
中で射精してほしいからっ
もういじわるしないでっ!
いじめるならなか
チ●ポで私の膣内を
いじめてくださいっ
おねがいつ!
おねがいつ!

じらされ始めてから
1時間を少し越えたところで
私は泣き叫んで挿入を哀願した



そらっお待ちかねの
チ●ポをくらえっ!

ビッ
フッ
ウッ

ズッ
フッ
クッ

ズッ! ボッ! オッ!

ん
あ
あ
ん

ズン
ズン
ズン

くうくうくう
中を出すぞっ!
全部受け止める!

あ

ビ
ン
ン

ゼ
ン
ン

び
ん
ん

と
ひ
ん



最後のプライドを捨てて
乱れた私は
今までで一番大きな
絶頂を味わった

これはもう……
ほんとに引き返せないなあ……
私はぼんやりと考えながら、
つながったところから
白く濁った液体があふれるのを
じっと見つめていた



ぐいゅん

ドロホッ

ねえ

うん？

結局さ…
あなた、あのビデオ
どこにも
流さなかったよね

そりやな…
おどかすために
ああは言ったけど
俺はお前を
独占したいんだよ
他の誰にも
見せる気ないね

…ふうん

そういえばこの人、エッチは
激しいけど
私の身体を傷つけるほどの
無茶はしないのよね…

（って良いほうに考えるあたり
我ながらタラシこまれちゃった
自覚があって悔しいんだけど）

しゃっ
しゃっ

ふた
ふた

4ヶ月後
（茉莉香からの
呼び出し3回め）

それなら…
そう悪い状況じゃ
ないのかもしれない

私を「メス」にした
このひとは
私を誰にも渡さない

れろっ
おっ

ほら、もうちよつと
こっち向きなさい…
ナメてあげる

おっ、今回は
サービスいいな

結局、こんなエッチな
私の姿は
まだ誰も知らないんだ

こんななにエッチな
音を立てて
おち●ちんを
しゃぶり慣れてる
いやらしい私を
誰も知らない

学院の優等生でもない
そつなく宇海賊仕事をこなす
キャプテンでもない

このひとと2人きりで
秘密のセックスをしている私



んっ♡

ちゅぽ♡
れっ♡

んっ♡

んちゅっ…
いつでも射精して…
いいからね…♡

シミュレーターに隠れて
虚しくオナニーを
していた時よりも
今はずっと解放感がある

週末あたり
また私のほうから
呼び出そうかな

勢いよく噴き出す
精液のシャワーを
浴びながら、
私はもう
次のセックスのことを
考えて楽しくなっていた



END